

令和元年度桜島中学校ブロック 小中連携研修会 まとめ

I 目的

全教育活動を通して小学校と中学校が連携を深め、共通理解・共通実践をする中で、「豊かな人間性」「確かな学力」「健康・体力」などの「生きる力」の育成を図る。

特に、9年間の学びの連続性を追求することを通して、学習指導方法の工夫や改善を行い、基礎学力の定着を図るとともに、中1ギャップの解消やいじめ・不登校の課題解決のため、一人一人の児童生徒のよさを認め、どの児童生徒も存在感・充実感のもてる学校・学級づくりに努める。

II 日程 令和元年6月17日(月) 於 桜峰小学校 (R元 担当校)

- | | |
|-----------|--|
| 1 受付 | 14:00～14:15 (校舎入口) |
| (1) 授業参観 | 14:15～15:00 (各教室) |
| (2) 移動・準備 | 15:00～15:15 |
| (3) 分科会 | 15:15～16:05
(学力向上; 理科室, 生活指導; 家庭科室) |
| (4) 移動・準備 | 16:05～16:20 |
| (5) 全体会 | 16:20～16:40 (多目的室) |

III 分科会内容

1 分科会

テーマ

主体的に学び、心身ともにたくましい児童生徒の育成
～円滑な移行のための小・中連携のあり方～

- (1) 授業参観を通しての意見交換
- (2) 各校の現状や課題、解決策(取組)など

2 全体会

- (1) 各分科会の報告、情報の共有
- (2) 共通実践事項の確認

IV 振り返り

1 生活部会

- 挨拶の指導や、登下校の指導に取り組んでいる。今後も PTA 保体部による 1 km 地点での登校指導を推奨し、意識付けを図っていきたい。
- 生活リズムの啓発を時期をみながら検討し、実施していきたい。
- 忘れ物への対応と指導を継続的に行いたい。

2 学習部会

- 教科によって学習に対する意欲に差が見られることがある。学ぶことの楽しさを子どもに伝えていく。
- 話を聞き流してしまうことがある。相手意識をもつ指導を工夫していく必要がある。
- 友達同士で学び合う力を身に付けさせたい。

V 来年度の方向性 (3校で取り組みたいもの)

1 「歩いて登校」の励行

- (1) 6:30に起床させるなど、「早寝・早起き等」の励行を図る。
- (2) 通学路に、「残り 1 km」等の看板を設置する。

2 「書く」ことの学習を充実させる

- (1) 教材や教具の工夫
- (2) 文字数を設定した記述
- (3) 表現力の向上

3 「自分史ノート」の作成と活用

- (1) 教科・特別活動等の年間指導計画への位置付け